

IGRいわて銀河鉄道株式会社

第 91 回取締役会の内容について

IGRいわて銀河鉄道株式会社(代表取締役社長 浅沼康揮)では、「第 91 回取締役会」において、下記の点について承認されましたのでお知らせします。

- 【資料 1】 2020 年度事業報告について p. 1～10
- 【資料 2】 2020 年度決算概要について p. 11
- 【資料 3】 2020 年度輸送概況について p. 12
- 【資料 4】 開業以来の経営状況について p. 13～15
- 【資料 5】 取締役候補者の選任について p. 16～17
- 【資料 6】 監査役候補者の選任について p. 18～19
- 【資料 7】 アクションプラン 2020 総括について p. 20～29
- 【資料 8】 鉄道開通 130 周年記念事業について p. 30～31
- 【資料 9】 「銀河ダイニングへのへの」について p. 32～36
- 【資料 10】 南青山アパート入居者限定ツアーについて . . . p. 37

※お問い合わせにつきましては、本日「17:30」まで受け付けておりますので、下記担当までご連絡ください。

IGRいわて銀河鉄道株式会社
総務部 総務グループ(広報担当)
TEL 019-601-9981、FAX 019-601-9997
〒020-0133 盛岡市青山 2-2-8
URL <https://igr.jp/>

事 業 報 告

第 20 期

〔 自 2020 年 4 月 1 日
至 2021 年 3 月 31 日 〕

IGRいわて銀河鉄道株式会社

事業報告

〔 自 2020 年 4 月 1 日
至 2021 年 3 月 31 日 〕

I 会社の現況に関する事項

1. 当事業年度における事業の経過及びその成果

当期における日本経済は、新型コロナウイルスの感染症拡大により、旅行業や飲食業をはじめとした各業界において、大きな影響を受けました。また、公共交通としても移動の自粛などによる影響を受け、鉄道各社において、厳しい経営状況が続いています。

岩手県内においても、他都道府県より感染拡大は抑えられているものの、不要不急の外出自粛の要請や大学の休校など、新型コロナウイルス感染症による影響を大きく受けました。

当社においては、沿線の人口減少に加え新型コロナウイルス感染症の影響を受けたことから、旅客運輸収入の減少に加え、旅行業や飲食業などの関連事業でも減収となっており、厳しい経営状況が続きました。

このような状況下で、輸送人員は1日平均11,936人となり、年間約435万人にご利用いただき、通勤・通学・通院を中心とした沿線住民の日常生活における交通手段として、コロナ禍においても重要な役割を果たしました。

鉄道の根幹である安全対策については、実車運転訓練会をはじめ、地域住民及び関係機関の方々と連携しながら踏切脱出体験等訓練会及び啓発活動を実施するなど、安全の確保に取り組みました。新たな情報共有のツールとして、訓練に参加できなかった社員に向けてリモート配信を行うなど、社員一人ひとりの安全意識の醸成に努めました。

また、お客さまにとって利用しやすい鉄道に向けて、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安心して利用できる環境を提供してきたほか、駅及び列車内でのアナウンスや掲示物等で感染防止意識の啓発活動を継続して行いました。利用促進については、青い森鉄道と連携した「もりはちツインきっぷ」やいわて銀河鉄道利用促進協議会の支援を受け「小学生100円きっぷ」などの企画きっぷの造成により、鉄道利用者の増加に向けて取り組みました。

社内においても、緊急事態宣言や感染拡大の際に、分散業務体制を整えるなどして、事業継続に向けリスク管理を徹底し、通常運行の維持・確保に努めました。

関連事業については、スクラップ＆ビルドの視点から「ミニストップ一戸店」を閉店し、二戸駅西口にある「なにゃーと」内へ新規店舗の開業に向けた準備を進めました。

「銀河鉄道まつり」については、新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえ、ウェブ開催へと変更し、どこからでも参加できる企画を提供しました。

地域との協働については、滝沢市及び岩手県立大学と連携しながら、「車両のフルラッピン

グ」や「ホーム柱への駅名標設置」に取り組み、鉄道ファンのみならず、県内外から注目度を高め、マイルール意識の醸成と当社の認知度向上など、利用促進を図りました。

財務運営については、徹底したコスト削減を進めるとともに、鉄道施設の整備に鉄道施設総合安全対策事業費補助を活用し、「指令システム」をはじめとする老朽化した鉄道施設を更新するなど、財務運営の安定化に取り組みました。

また、県・沿線市町より「運行支援交付金」等の支援を受けたほか、「並行在来線鉄道事業者協議会」を通して国に貨物調整金制度の見直しや支援制度の拡充等に関する要請を継続して行うなど、事業基盤の充実に向けて活動しました。

この結果、当期は純損失として 274,656 千円を計上しました。内訳については、営業収益は旅客運輸収入が 883,492 千円、鉄道線路使用料収入が 2,651,591 千円、関連事業を含めた運輸雑収等が 486,989 千円、計 4,022,072 千円となりました。一方、営業費用は、4,533,825 千円となり、営業損失は 511,752 千円を計上することとなりました。

これに、運行支援交付金等の営業外収益 192,248 千円、支払利息等の営業外費用 11,776 千円、国庫補助金収入等の特別利益 397,779 千円、固定資産圧縮損等の特別損失 336,761 千円、法人税等の 4,394 千円を加え、当期純損失は 274,656 千円となりました。

なお、関連事業の収支については、収入合計が 340,205 千円、費用合計が 387,265 千円となり、47,060 千円の営業損失となりました。

2. 対処すべき課題

2020 年度の事業結果を踏まえ、新型コロナウイルス感染症については、今後も継続して感染防止に取り組んでいくとともに、リスク管理を徹底し、地域の旅客輸送及び日本の物流の担い手として、安全・安定輸送の確保に努めます。

財務運営については、新型コロナウイルス感染症の影響による営業収益の減少が今後も見込まれます。また、鉄道施設の老朽化に伴い、「指令システム」の更新など複数年計画の大規模な施設・設備の更新を進めています。さらに、JR 東日本において東北本線（盛岡～北上）などにおける Suica の利用エリア拡大が発表されたことから、当社においても駅設備の IC 化対応に注目が高まると予想され、駅設備やネットワーク環境の構築などについて検討を進め、地域交通の利便性向上に向けた取り組みが急務となっています。これらの諸課題について、国庫補助金や助成金を活用するとともに、岩手県及び沿線市町と経営安定化に向けて協議・検討を進めています。また、金融機関からの借入入れを機動的に実行し、手元流動性を厚く保持することで、資金繰りに支障が生じないように安定的な財務運営に取り組みます。

また、業務運営全般については、「中期経営計画（2018～2022）」の達成に向けて、別添「2021 年度運営方針」に基づき、「もっと身近に IGR」を合言葉に、沿線地域の関係機関・団体や沿線住民の皆さまとの連携を深めることで沿線地域の魅力向上・活性化に取り組みます。

別紙

[2021 年度の運営方針]

2002 年の開業以来、会社を取り巻く経営環境が大きく変化する中、2013 年度に「新・経営ビジョン」を定め、このビジョンの実現に向け中期経営計画を策定し、旅客運輸収入の増収や鉄道事業を補完するための関連事業の展開に取り組んできたところです。

しかしながら、2016 年度には寝台特急が運行終了となったことや人口の減少により、旅客運輸収入は大きく減収したことに加え、2020 年度には新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、経営はさらに厳しさを増している状況にあり、新型コロナウイルス感染症に対応した事業の見直しが求められています。

このような中、地域の足を守ることが当社の使命であることから、安全の確保にかかる取組みについては最優先とし、鉄道の根幹である安全・安定輸送を堅持するとともに、お客さまにとってかけがえのない鉄道でありつづけることを目的に策定した「後期中期経営計画（2018～2022）」にポストコロナを加えた以下の視点に立ち、転換期、変革期における各種事業の展開・見直しや運営体制の強化に取り組むものです。

ア 増収増益

ウィズコロナ及びポストコロナのニーズを踏まえた事業を展開し、継続的な収入の確保と、収益性の向上に努めるとともに、果敢に新規事業や諸課題の見直しにチャレンジします。

イ 財務運営

当社の財務運営につきましては、収支計画及び設備投資計画をもとに資金繰り計画を策定し、経営状況を踏まえて金融機関等と協議の上、円滑な財務運営に取り組めます。

ウ 地域との協働

沿線地域の関係機関、関係団体や沿線の皆様との信頼関係をより強固なものとしながら、地域のために何をなすべきか、何ができるかという視点に立ち、ともに協力して地域を支え、魅力発信や活性化に取り組み、地域にとって「かけがえのない鉄道」となることを目指します。

3. 設備投資の状況

当期に実施した設備投資の総額は886,047千円で、その主な内容は次のとおりです。

・光ケーブル及び光搬送装置新設工事	220,405	千円
・境田川原踏切拡幅工事	215,700	千円
・支持物取替その他工事	108,802	千円
・自動券売機更新	68,900	千円
・PRC中央装置取替その他工事	53,771	千円

4. 資金調達の状況

(株)岩手銀行、(株)東北銀行、(株)北日本銀行の地元3行と総額18億円の限度枠内で随時必要額の融資が受けられる契約を締結しており、17億円の短期資金を借入調達しています。

新型コロナウイルス感染症拡大による影響で、旅客運輸収入が大幅に減少したことから、資金繰り安定化を目的として、地元3行及び日本政策金融公庫(株)から、3億2千万円の長期資金を借入調達しています(国及び岩手県の制度融資、新型コロナウイルス感染症対策資金)。

5. 直前三事業年度の財産及び損益の状況

区 分	第17期	第18期	第19期	第20期 (当事業年度)
営業収益(千円)	4,320,573	4,434,821	4,473,819	4,022,072
当期純利益(千円)	△16,736	99,094	△52,493	△274,656
一株当たり当期純利益(円)	△452	2,678	△1,418	△7,424
総資産(千円)	5,837,171	5,910,909	5,834,475	6,349,010

6. 当事業年度の末日における主要な事業内容

鉄道事業法による第一種鉄道事業及びこれに付帯関連する事業

7. 当事業年度の末日における主要な事業所

- ・本 社 岩手県盛岡市青山二丁目2番8号
- ・運輸管理所 岩手県盛岡市天昌寺町5番5号
- ・設備管理所 岩手県盛岡市好摩字上山3番地3

8. 使用人の状況

区 分	使用人数	平均年齢	平均勤続年数
男 子	217 名	45.9 歳	8.3 年
女 子	78 名	40.4 歳	6.5 年
合 計	295 名	44.4 歳	7.8 年

(注) 上記には、J R 東日本からの出向従業員 29 名、契約社員、期限付臨時雇用社員 11 名及び非常勤社員、アルバイト 73 名を含んでいます。

9. 重要な親会社等の状況

当社は、岩手県から発行済株式総数の 54.06% (20,000 株) の出資を受けています。

当社は、岩手県知事が取締役会長に就任しています。

II 株式に関する事項

1. 会社が発行する株式の総数 40,000 株
2. 発行済株式の総数 (普通株式) 36,994 株
3. 当事業年度末の株主数 49 名
4. 発行済株式の十分の一以上の数の株式を有する大株主の状況

株 主 名	持 株 数
岩 手 県	20,000 株
盛 岡 市	5,858 株

Ⅲ 会社役員に関する事項

1. 取締役及び監査役の状況

会社における地位	氏 名	担当又は他の法人等の代表状況等
取 締 役 会 長	達 増 拓 也	岩手県知事
取 締 役 副 会 長	谷 藤 裕 明	盛岡市長
代 表 取 締 役 社 長	浅 沼 康 揮	
取 締 役	中 村 英 夫	東京都市大学名誉総長
取 締 役	藤 原 淳	二戸市長
取 締 役	田 中 辰 也	一戸町長
取 締 役	佐々木 光 司	岩手町長
取 締 役	主 濱 了	滝沢市長
常 勤 監 査 役	中 嶋 芳 也	岩手大学名誉教授
監 査 役	田 村 正 彦	八幡平市長
監 査 役	鎌 田 英 樹	株式会社アビシー岩手放送代表取締役社長

(注)専務取締役 菅原 芳彦は2020年6月25日に辞任しました。

(注)佐々木 淳(岩手県ふるさと振興部長)は2020年6月25日、取締役就任しました。

(注)取締役 佐々木 淳(岩手県ふるさと振興部長)は2021年3月31日に辞任しました。

2. 取締役及び監査役の報酬等の総額

(単位：千円)

区 分	人 数	報 酬 等 の 額	摘 要
取 締 役	3	8,402	
監 査 役	2	2,304	
計	5	10,706	

Ⅳ 会計監査人に関する事項

1. 名称

有限責任 あずさ監査法人

2. 当事業年度中に辞任した又は解任された会計監査人に関する事項

該当する事項はありません。

3. 現在の業務停止処分に関する事項

該当する事項はありません。

4. 過去2年間の業務停止処分に関する事項の内、会社が事業報告の内容とすべきと判断した事項

該当する事項はありません。

Ⅴ 業務の適正を確保するための体制等の整備についての決議内容

内部統制システムの整備に関する基本方針について

当社の内部統制システムの整備に関する基本方針を以下のとおり定めています。

1 取締役の職務執行が法令・定款に適合することを確保するための体制

役職員はあらゆる会社の根本規範である定款及び法令に従ってその職務を遂行するとともに取締役自ら率先垂範と役職員への周知徹底を図ることとする。また、監査役は取締役会等の重要な会議に出席し、取締役の職務執行の監視をより一層強化することとする。

2 取締役の職務の執行が効率的に行われていることを確保するための体制

取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するため、定期的に取り締役会を招集するほか、適宜臨時に開催するものとする。併せて、年次事業計画を立案し、全社的な目標を設定するものとする。

3 損失の危険の管理に関する規程その他の体制

全社的対応は総務部を窓口とし、リスクの状況を正確に把握、適切に制御の上、健全な会社経営に努めるものとする。なお、不測の事態が発生した場合には、社長指揮下の対策本部を設置し、迅速な対応を行い、損害の拡大を防止する体制を整えるものとする。

4 取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する事項

取締役の職務執行に係る情報については、適切かつ確実に定められた期間、保存・管理を行うものとする。

5 取締役が監査役に報告をするための体制

取締役は、会社の業務または業績に与える重要な事項について監査役に報告するものとし、職務の執行に関する法令違反、定款違反及び不正行為の事実を知った時は、遅滞なく報告するものとする。なお、前記に関わらず、監査役は必要に応じて、取締役に對し報告を求めることができるものとする。

VI 決算期後に生じた会社の状況に関する重要な事実

該当する事項はありません。

2020年度決算

(単位:千円、税抜)

項 目	2020年度 決算 A	2020年度 決算見込 B	増減 C (A-B)	Cの主な増減要因	2020年度 当初計画 D	増減 E (A-D)	2019年度 決算 F	増減 G (A-F)
営業収入	4,022,072	4,024,575	▲ 2,503		4,615,829	▲ 593,757	4,473,819	▲ 451,747
旅客運輸収入	883,492	886,159	▲ 2,667	運賃収入の減	1,218,916	▲ 335,424	1,201,281	▲ 317,789
線路使用料収入	2,651,591	2,651,974	▲ 383		2,805,667	▲ 154,076	2,663,680	▲ 12,089
運輸雑収 関連事業収入 商品売上	486,989	486,442	547		591,246	▲ 104,257	608,858	▲ 121,869
営業費	4,533,825	4,560,927	▲ 27,102		4,810,151	▲ 276,326	4,572,098	▲ 38,273
人件費	1,093,298	1,091,888	1,410		1,159,174	▲ 65,876	1,101,610	▲ 8,312
業務費	894,009	904,011	▲ 10,002	水道光熱費及び商品仕入等の減	1,062,233	▲ 168,224	994,974	▲ 100,965
修繕経費	2,094,847	2,102,786	▲ 7,939	工事計画の変更による減	2,117,566	▲ 22,719	2,040,058	54,789
諸税	119,399	125,106	▲ 5,707	事業税等の減	131,636	▲ 12,237	121,163	▲ 1,764
減価償却費	332,272	337,136	▲ 4,864	取得時期の変更による減	339,542	▲ 7,270	314,292	17,980
営業損益	▲ 511,752	▲ 536,352	24,600		▲ 194,321	▲ 317,431	▲ 98,278	▲ 413,474
営業外収益	192,248	191,159	1,089	発生品売却等の増	14,494	177,754	15,487	176,761
営業外費用	11,776	14,751	▲ 2,975	計上の変更による減(MS一戸駅店解約金等)	14,293	▲ 2,517	9,881	1,895
経常損益	▲ 331,280	▲ 359,944	28,664		▲ 194,120	▲ 137,160	▲ 92,673	▲ 238,607
特別利益	397,779	405,066	▲ 7,287	補助金収入の減	124,563	273,216	126,855	270,924
特別損失	336,761	330,398	6,363	計上の変更による増(MS一戸駅店解約金等)	107,318	229,443	82,281	254,480
税引前当期損益	▲ 270,262	▲ 285,276	15,014		▲ 176,875	▲ 93,387	▲ 48,099	▲ 222,163
法人税等	4,394	4,394	0		3,984	410	4,394	0
当期損益	▲ 274,656	▲ 289,670	15,014		▲ 180,859	▲ 93,797	▲ 52,493	▲ 222,163

※千円未満端数処理の関係で、各項目の合計と合致しない場合がある。

2020年度決算概要

■営業収入について

決算 40億2,207万円

当初計画より「5億9,375万円」の減収

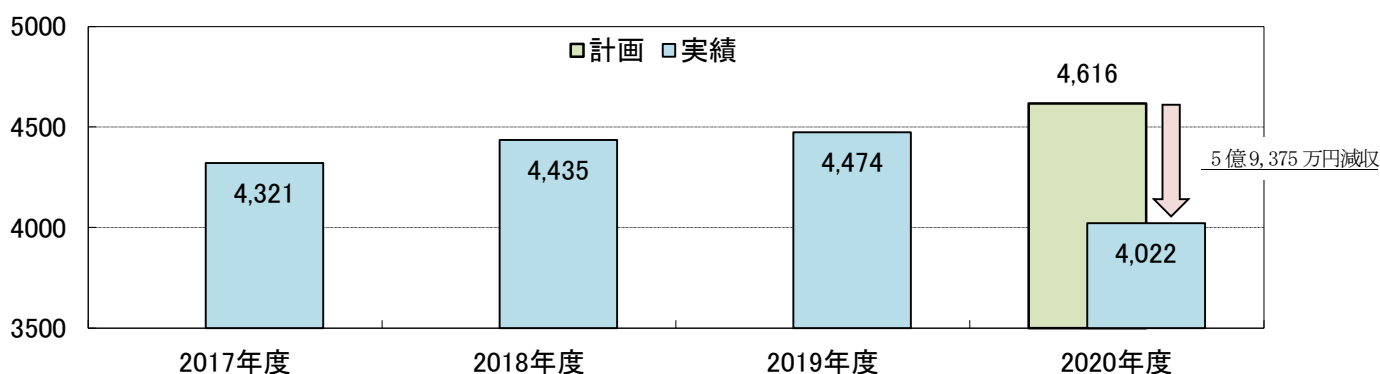
特に旅客運輸収入は「3億3,542万円」の減収

【旅客運輸収入の減】 ▲3億3,542万円（定期：▲4,438万円 定期外：▲2億9,104万円）

【線路使用料収入の減】 ▲1億5,407万円

【運輸雑収入等の減】 ▲1億425万円

【過去3カ年の営業収入推移】（単位：百万円）



■当期損益

2020年度は「2億7,465万円」の赤字

当初計画より「9,379万円」の減益

〔当初計画対比〕

【当期損益】 ▲9,379万円

〔2019年度決算対比〕

【当期損益】 ▲2億2,216万円

～代表取締役社長 あさぬま やすき 浅沼 康揮 コメント～

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、旅客運輸収入が大きく減収し、2020年度は大幅な赤字決算となりました。

今後においても、安全の確保にかかる取組みを最優先とし、「指令システム」など大規模な施設・設備の更新を進める中で、修繕経費をはじめとした営業費の精査・圧縮に努めていきます。

また、「いわて旅応援プロジェクト・いわて応援クーポン」を活用したツアーや、企画きっぷ造成等により、お客さまの利便性向上と増収増益に向け、積極的に取り組んでいきます。

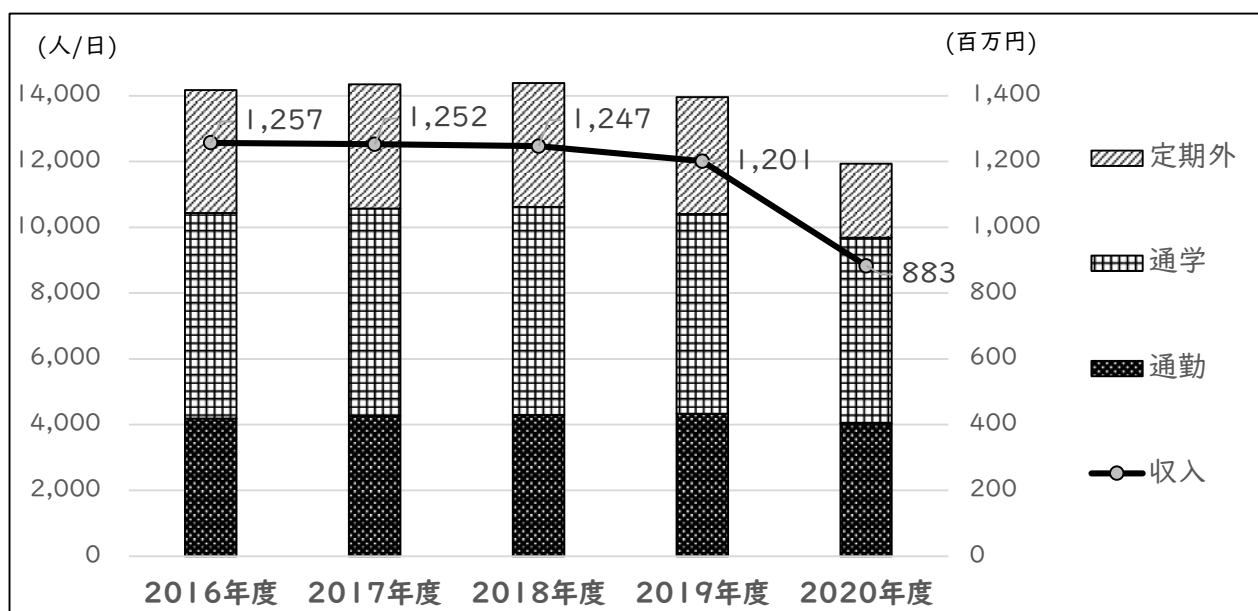
輸送概況

■ 輸送人員の推移

単位：人/日

	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020年度		
					輸送人員	前年増減	増減率
定 期	10,430	10,572	10,617	10,405	9,680	△ 725	△ 7.0
通 勤	4,191	4,266	4,299	4,338	4,044	△ 294	△ 6.8
通 学	6,239	6,306	6,318	6,067	5,636	△ 431	△ 7.1
定 期 外	3,742	3,770	3,766	3,545	2,256	△ 1,289	△ 36.4
合 計	14,172	14,342	14,383	13,950	11,936	△ 2,014	△ 14.4

■ 輸送人員および旅客運輸収入の推移グラフ



■ 直近5年間の輸送概況

人口減少やモータリゼーションの進展等、当社をはじめ地方鉄道や路線バスを取り巻く環境は厳しい状況が続いている中、盛岡近郊の利用が増加するなど、輸送人員は微増、収入は横ばいの状態が続いていた。

しかしながら、2020年3月から新型コロナウイルスの影響による減少が始まり、2020年度はこれまでに経験したことのない大幅な減少となった。

■ 2020年度の輸送概況

2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で利用が激減した。

最も減少が大きかったのは定期外で、感染状況が落ち着いた10月を除き大きく減少した。

通勤定期は徐々に減少が進んでおり、通勤方法の変更やテレワーク、雇用情勢の悪化等の影響を受けているものと推測される。

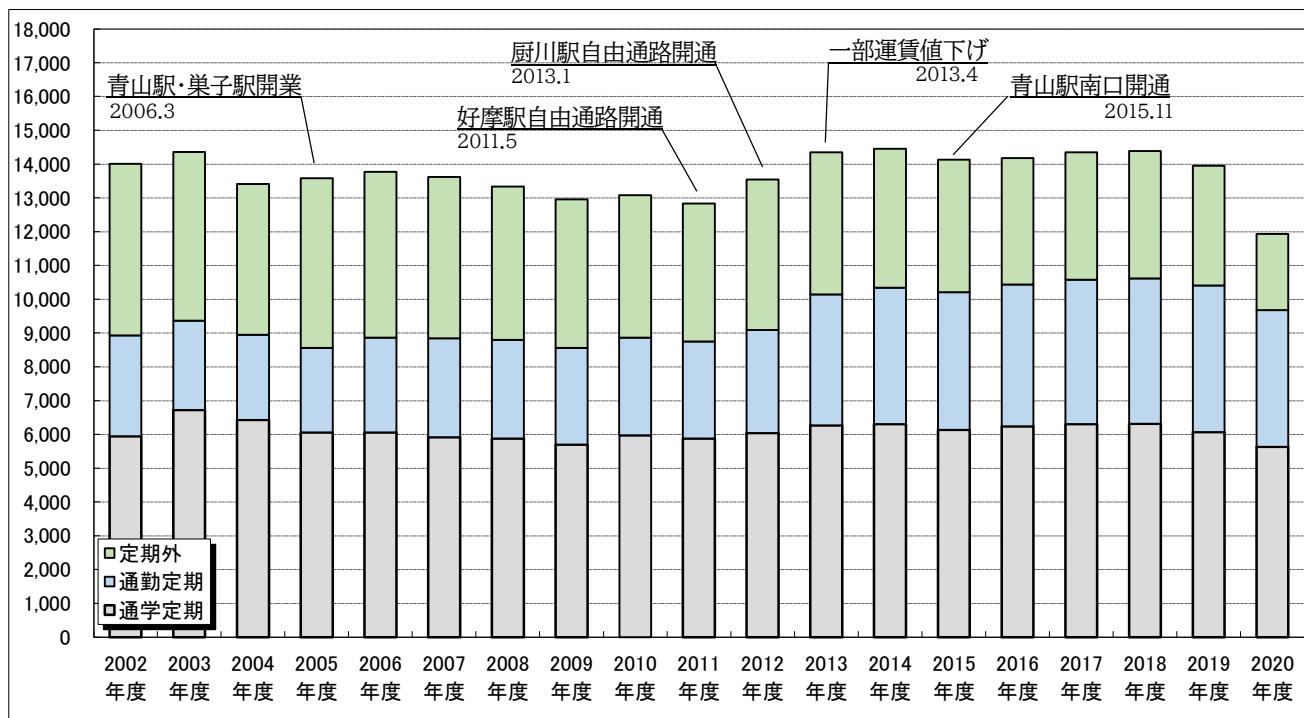
通学定期は、前半に沿線の大学が休校・リモート授業となったことから大きく減少したものの、後半は若干持ち直した。

未曾有の事態にあっても、定期利用のお客さまの減少は限定的であり、これまでの日常利用重視の施策が功を奏した形となった。今後も日々利用してくださっている方々の利便性向上に努めつつ、新規顧客を獲得すべく工夫していく。

開業以来の経営状況について

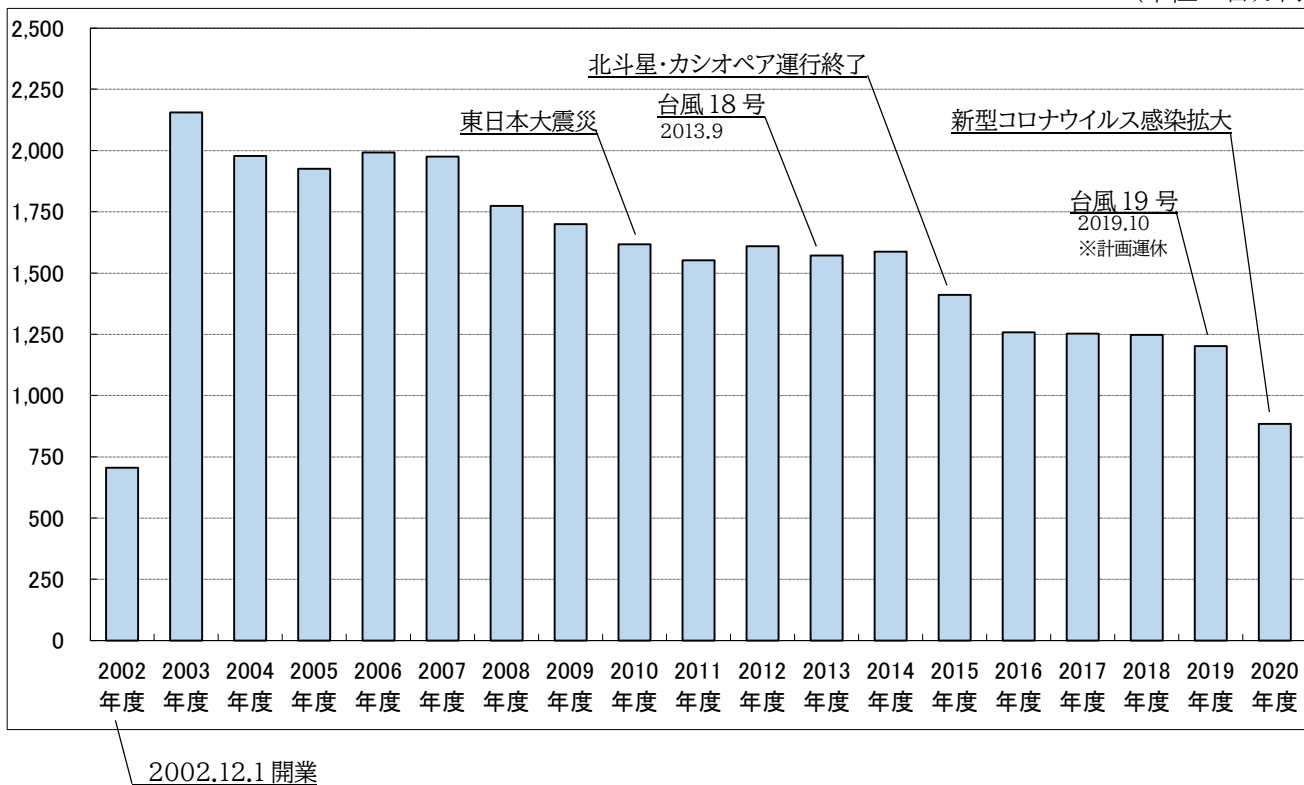
1 輸送人員推移

(単位：人/日)



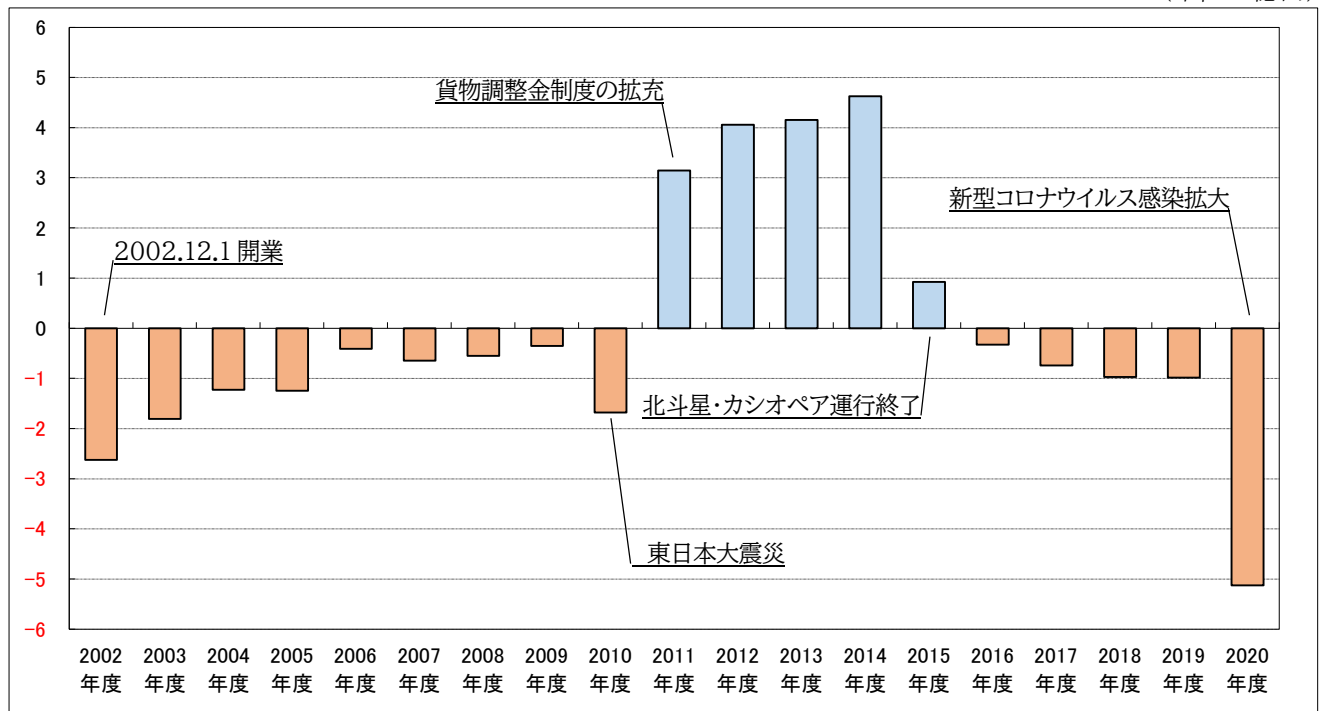
2 旅客運輸収入推移

(単位：百万円)



3 営業損益推移

(単位：億円)



4 県・沿線市町等及び国等からの支援状況

県・沿線市町等からの支援	国庫補助金等の活用
運行支援交付金 (1 億 7,000 万円) 安全・安定運行に必要な鉄道施設の老朽取替や運行本数の維持を目的として、岩手県と沿線市町より支援を受けた	鉄道施設総合安全対策事業費補助金 (1 億 3,300 万円) 指令システムを始めとした、老朽化した鉄道施設の取替 (更新)
地域企業経営継続支援事業費 (230 万円) 新型コロナウイルス感染症対策を目的とした設備の導入について、盛岡商工会議所より支援を受けた	地域公共交通確保維持改善事業費補助金 (770 万円) 新型コロナウイルス感染症対策を目的とした設備の導入等
いわて銀河鉄道利用促進協議会負担金 (450 万円) いわて銀河鉄道利用促進協議会を通じ、利用促進事業の実施について、支援を受けた	雇用調整助成金 (760 万円) 雇用維持を図るため、助成金を活用

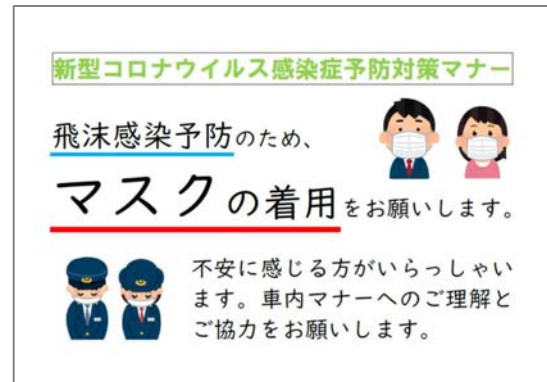
※営業費圧縮 (当初計画より約 2 億 7,600 万円減)

5 新型コロナウイルス感染症対策の継続

車両の除菌・抗菌



車内マナーの呼びかけ



駅の除菌・抗菌



オゾン発生器の設置



6 2021年度の運営方針抜粋

安全の確保にかかる取組みについては最優先とし、鉄道の根幹である安全・安定輸送を堅持するとともに、ポストコロナを加えた以下の視点に立ち、運営体制の強化に取り組めます。

ア 増収増益

ウィズコロナ及びポストコロナのニーズを踏まえた事業を展開し、継続的な収入の確保と、収益性の向上に努めるとともに、果敢に新規事業や諸課題の見直しにチャレンジします。

イ 財務運営

当社の財務運営につきましては、収支計画及び設備投資計画をもとに資金繰り計画を策定し、経営状況を踏まえて金融機関等と協議の上、円滑な財務運営に取り組めます。

ウ 地域との協働

沿線地域の関係機関、関係団体や沿線の皆様との信頼関係をより強固なものとしながら、地域のために何をなすべきか、何ができるかという視点に立ち、ともに協力して地域を支え、魅力発信や活性化に取り組み、地域にとって「かけがえのない鉄道」となることを目指します。

取締役候補者の選任について

取締役候補者を次のとおり選任することについて承認されました。

取締役候補者

(50 音順)

氏 名	主 な 職 業
熊谷 泰樹	岩手県ふるさと振興部長
鈴木 敦	I G Rいわて銀河鉄道株式会社 総務部長

(以上 2 名)

取 締 役 候 補 者 略 歴 等

(50 音順)

氏 名 (生 年 月 日)	主な職業	略 歴	当社株式 所有数	当社との 利害関係
くまがい たいじゅ 熊谷 泰樹 (昭和 39 年 1 月 2 日生)	岩 手 県 部 長	昭和 61 年 4 月 岩手県庁入庁 平成 24 年 4 月 医療局経営管理課総括課長 平成 26 年 4 月 総務部人事課総括課長 平成 27 年 8 月 総務部財政課総括課長 平成 28 年 4 月 環境生活部副部長 平成 29 年 4 月 保健福祉部副部長 平成 30 年 4 月 総務部副部長 平成 31 年 4 月 医療局長 令和 3 年 4 月 ふるさと振興部長 (現在)	無	無
すずき あつし 鈴 木 敦 (昭和 35 年 10 月 12 日生)	I G R いわて銀 河鉄道株 総務部長	昭和 58 年 4 月 岩手県庁入庁 平成 24 年 10 月 地域振興部地域振興室 特命参事 平成 27 年 4 月 政策地域部 参事 平成 28 年 4 月 沿岸広域振興局副局長 (宮古) 平成 29 年 4 月 政策地域部副部長 平成 30 年 4 月 政策地域部 理事 平成 31 年 4 月 岩手県監査委員事務局長 令和 2 年 4 月 ふるさと振興部 理事 令和 3 年 4 月 IGR いわて銀河鉄道株総務部長	無	無

(以上 2 名)

監査役候補者の選任について

監査役候補者を次のとおり選任することについて承認されました。

監査役候補者

(50 音順)

氏 名	主 な 職 業
鎌田 英樹	株式会社アイビーシー岩手放送 代表取締役社長
田村 正彦	八幡平市長
似鳥 徹	岩手県立大学名誉教授

(以上 3 名)

監 査 役 候 補 者 略 歴 等

(50音順)

氏 名 (生年月日)	主な職業	略 歴	当社株式 所有数	当社との 利害関係
かまた ひでき 鎌 田 英 樹 (昭和28年12月11日生)	株式会社アイビーシー 岩 手 放 送 代表取締役 社長	昭和53年4月 岩手放送株式会社入社(現 株式会社アイビーシー岩手放送) 平成10年10月 テレビ局八戸支社長 平成14年7月 東京支社営業部長 平成16年2月 東京支社次長兼営業部長 平成17年8月 テレビ編成局長 平成20年6月 取締役東京支社長 平成22年6月 常務取締役東京支社長 平成22年8月 常務取締役管理本部長 平成23年6月 代表取締役社長(現在)	無	無
たむら まさひこ 田 村 正 彦 (昭和23年2月5日生)	八幡平市長	昭和45年4月 岩手県農業共済組合連合会採用 平成元年9月 西根町議会議員 平成7年4月 岩手県議会議員 平成15年5月 岩手県監査委員 平成17年10月 八幡平市長(現在) 平成18年6月 当社監査役(現在)	無	無
にたとり とおる 似 鳥 徹 (昭和31年3月27日生)	岩手県立大学名誉教授	昭和53年4月 岩手医科大学医学部採用 昭和54年7月 岩手医科大学医学部助手 平成5年2月 岩手医科大学医学部講師 平成19年4月 岩手県立大学看護学部准教授 平成24年4月 岩手県立大学学生支援本部副本部長 平成25年4月 岩手県立大学学生支援本部本部長 平成29年4月 岩手県立大学学生支援本部教授 令和3年3月 岩手県立大学定年退職 令和3年4月 岩手県立大学名誉教授	無	無

(以上3名)



アクションプラン2020 総括

人を 地域を 未来へつなぐ、かけがえのない鉄道をめざします



1

「安全・安心」を第一に、
地域の旅客輸送・日本の物流の担い手として
より信頼される鉄道であり続けます

◆ 社員一人ひとりが安全を最優先に業務に取り組む。
【さらなる安全・安心への取組】

1-1

防災マニュアルの浸透、事業継続計画の充実、
避難誘導等の防災訓練の実施など、自然災害への対応力を強化



新型コロナウイルス感染症対策本部会議（本社会議室）



防災の日消防訓練（青山駅青山南口駐車場）

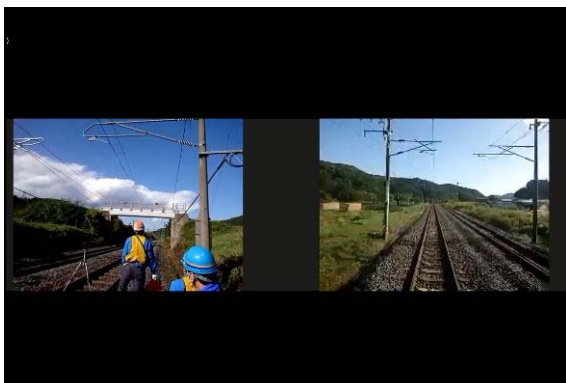
必要により各種計画を見直していくとともに、定期的な訓練を実施することで
事業継続と防災意識の醸成を図ります。

1-2

各種訓練を関連機関と連携して実施するほか、事故・輸送障害
への対応力を強化するとともに、万一事故が発生した場合、
被害者の救護をはじめ適切な支援を行う



踏切脱出体験等訓練会（大宮踏切）



実車運転訓練会（Zoom配信）

リモート配信の活用による訓練効果の拡大を図り、お客さまと社員の安全確保と
安心を提供していくとともに、地域の交通安全への取組みも継続していきます。

◆ 鉄道施設の信頼性を確保する。
【線路・電路設備の品質の維持・向上】

1-3

計画的な設備更新により修繕費を削減するとともに、
設備品質の維持・向上を図り、信頼性を確保する



レール交換のためのレール輸送（好摩駅構内）



橋梁上における合成樹脂マクラギへの交換
（松川橋りょう）



コンクリート柱取替作業（境田川原踏切）

設備投資計画の定期的な精査・更新を行っていくとともに、設備のスリム化によるランニングコストの圧縮に取り組んでいます。

1-4

技術勉強会や各種教育機関への計画的な派遣訓練を
継続的に実施することで、プロパー社員の技術力を確立し、
これまで培ってきた鉄道保守技術の継承を進める



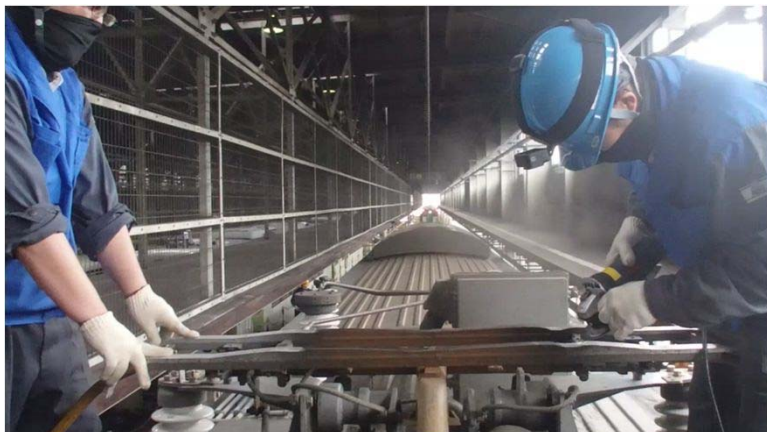
自然災害に対する対応力強化を目的とした
勉強会（設備管理所）



分散業務体制を想定した社内通信
ネットワーク構築訓練（いわて沼宮内駅）

計画的に勉強会や訓練を実施して技術力向上・継承を進めます。

1-5 車両検修、清掃の円滑化等コスト削減につながる作業環境の整備を図るほか、車両の延命化を図る



車両のパンタグラフ点検（運輸管理所）



戸閉装置オーバーホール

車両の老朽化に対して計画的に修繕を実施して、車両の適切な維持管理に努めます。

1-6 将来の車両更新に備えて、車両製造・導入動向を調査するとともに、より効率的な車両運用のあり方や輸送需要や異常時対応をも考慮した必要車両数について、関係機関と検討を進める。

- ・コロナ禍により、有効なデータの取得は困難と判断し、乗降調査を見送りましたが、主要区間の調査を実施し、必要編成数の精査に努めていきます。
- ・情報収集のほか、岩手県及び沿線自治体との意見交換を実施し、情報共有に努め、関係機関と調整を図ります。

2

誰もが利用したくなるような お客さまにやさしい 魅力的な鉄道をめざします

◆お客さまの視点に立ったサービスを提供する。
【顧客ニーズに沿ったサービスの提供等】

2-1

“お客さまの声”をはじめとしたサービス向上に資する情報の収集と分析を進めるとともに、お客さまに気持ちよくご利用いただけるサービス知識・技術の向上を図る。



車両抗菌処理



啓発ポスター掲示（車内吊り）

お客さまの声を分析し、情報提供の迅速化など、お客さま視点のサービスを提供出来るように、利便性の向上に向けた情報の収集や分析、サービスの企画・提案に積極的に取り組んでいます。

【地域特性に応じた発信力の強化】

2-2

沿線市町や地域の皆様と連携しながら、駅を中心とした地域活性化に取り組むとともに、ニーズに沿った企画や地域に関する情報を発信し、地域に根差した会社運営を行う。



「IGRパートナーズ会」総会・交流会
（いわて沼宮内駅 プラザあい多目的ホール）



滝沢市×IGRコラボデザイン
お披露目セレモニー（滝沢駅）



イルミネーション点灯式
(奥中山高原駅)



親子御所野縄文遺跡体験交流会
(一戸町)



災害公営住宅入居者支援活動
(県営南青山アパート)



「金田一温泉駅前子ども会」との七夕飾り設置
(金田一温泉駅)



IGRホームページの充実



営業部Facebook

ニーズに沿った企画や、各種SNSによる地域情報の発信のほか、パートナーズ会員による発信をシェアすることで、地域連携の拡充を図るとともに、会員数増加に向けて取り組んでいます。

◆お客さまにとって便利で利用しやすい鉄道をめざす。
【駅や列車の利便性向上】

2-3 “お客さまの声”や現場の提言を反映し、 限られた資源の中でより良いダイヤを構築する



サービス推進委員会 車両窓清掃(二戸駅)



サービス推進委員会 ハロウィンイベント(盛岡駅)

土休日や主要区間の調査を実施し、お客さまの声などを反映させながら、関係機関と調整のうえ、より利用しやすいダイヤを目指します。

2-4 駅や列車の利便性向上について、具体的な検討を行う

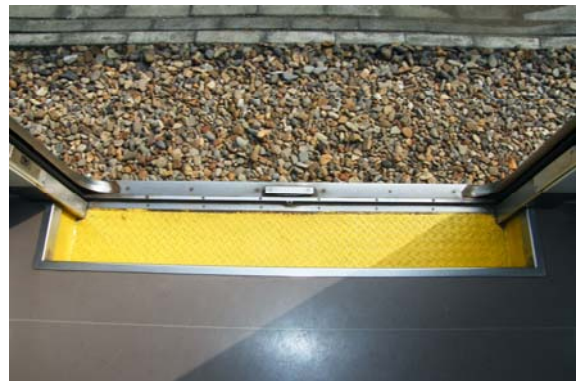
JR東日本において東北本線(盛岡～北上)などへのSuica導入が発表されたことから、具体的な対応策の検討を進めていきます。

【バリアフリー環境の整備】

2-5 バリアフリーに関する知識・技術の向上に取り組み、 お客さまにとって利用しやすい鉄道を目指します



携帯用スロープ取扱い訓練



ドアステップ着色後

取組みを継続して安心して利用できる鉄道を目指します。

3 地域のかげがえのない足として 将来にわたり健全で安定的な経営に努めます

◆地域鉄道を担う“民間”会社としての社会的な責務を果たす。
【黒字経営の継続】

3-1 徹底した経費削減に努め、費用と収入の均衡を図る

継続して経費削減に取り組んでいきます。

3-2 鉄道旅客事業及び関連事業については、 増収増益に繋がる取組を強化する



企画きっぷ「小学生100円きっぷ」



企画きっぷ「もりはちツインきっぷ」



浄法寺漆産地めぐりモニターツアー



鉄印記帳（青山駅青山南口）



びすとり銀河 岩手町コラボメニュー

調査や分析を行い、ニーズに応じたサービスを提供して、増収増益に向けて取り組んでいきます。

3-3 住民の利便性向上と地域の発展に大きく資する事業について、引き続き沿線市町・県とともに検討する。

駅舎の改築や新駅の設置など、引き続き沿線市町・県と検討していきます。

3-4 未利用地や未利用スペースの有効活用により収益の増加を図るとともに、地域のまちづくりに貢献する



一戸町からの出張販売「いちのへびより」
(青山駅南口「びすどろ銀河」レンタルスペース)



園井恵子花のみち(岩手川口駅)

引き続き活用に向けて取り組んでいきます。

3-5 道路と公共交通双方の利便性向上のため、地域の交通計画を踏まえ、マイカーから公共交通機関へのシフトを図る

県及び沿線市町の公共交通計画等へ参加し、マイカーから公共交通機関へのシフトを図られるよう取り組んでいきます。

◆ 徹底した効率経営を追求するとともに関連事業を展開し、健全な経営を維持する。
【長期的に安定したキャッシュフローの確立】

3-6 設備投資に要する資金の調達が必要となることから、長期的な視点でキャッシュフローの健全化を進めるため関係機関と検討を進める

設備投資には多額な資金を要することから、関係機関とキャッシュフローの健全化を図るため、県及び沿線市町と検討・調整を進めていきます。

【人材の育成と適正な人員管理】

3-7 採用活動を積極的に行い、優秀な人材を確保するとともに、外部研修期間の活用や他社への派遣研修等社員研修の充実を図り、社員一人ひとりの知識技能向上に取り組みます



オンラインによる会社説明会（本社打合せ室）



トップマネジメントフォローアップ研修（本社会議室）



出向・派遣研修中間報告会（本社会議室）

3-8 今後、必要とされる人材の育成に向けて、育成の方向性等を明確にするとともに、働き方の見直しや業務改善等による時間外労働の削減と社員のモチベーションの向上を図る

次期経営ビジョンも見据えながら、引き続き働きやすい環境づくり取り組むとともに、更なる社員のモチベーションの向上に取り組んでいきます。

【業務改善の推進】

3-9 業務改善の取組を全社的な取組に発展させるとともに、業務改善意識の浸透を図る

業務改善に対するマインドが醸成されてきたことから、各部での取り組みを進めていきます。

鉄道開通 130 周年記念事業及び I C カード等の検討状況

盛岡～青森間 鉄道開通 130 周年記念事業

1891 年（明治 24 年）9 月 1 日、日本鉄道が盛岡～青森間を開通させてから今年で 130 周年を迎えることから、開業日前後を中心に地域の皆さま、関係各社と連携した記念行事を行う。

☆ 目的・コンセプト

《地域とともに歩む I G R》

130 周年を契機に社員・沿線の皆さま・お客さまと歴史を振り返り、祝う。

沿線の皆さまと一緒に沿線の魅力を発信する。

協力者・出店者と社員との関係を深め、今後に繋げる。

☆ 銀河鉄道まつり

〔開催日〕 9 月 4 日（土）

〔場 所〕 一戸駅および一戸町役場周辺

御所野縄文遺跡世界遺産登録や一戸駅新店舗の PR に繋げる。

〔内容案〕

- ① 沿線・周辺市町村 P R ブース
- ② グルメコーナー
- ③ 鉄道関係（ミニ SL、軌陸車陸上、レールスター等）
- ④ 物販（発生品、オリジナルグッズ等）

☆ 企画きっぷ・イベント・グッズ

〔期間〕 7 月～9 月

〔きっぷ〕 盛岡～青森間のお得なきっぷ

〔イベント〕 カードラリー等

〔グッズ〕 台紙付き記念入場券セット等

《参考》 1891 年開業の駅 [] は開業当時の駅名

9 月開業の駅・・・好摩、沼宮内、奥中山[中山]、小鳥谷、三戸[三ノ戸]、八戸[尻内]、
上北町[沼崎]、野辺地、小湊、浅虫、青森

12 月開業の駅・・・二戸[福岡]、下田(青森県)

☆ 横断幕・ポスター

〔期間〕 7 月～9 月、12 月頃

〔設置場所〕 1891 年に開業した駅、ポスターは列車内にも掲示

〔ポスター内容〕 歴史を振り返るポスター

I Cカード等キャッシュレス乗車

I Cカードによる乗車が都市部を中心に日常化しているが、岩手県においても路線バスへの導入が始まり、今後徐々に拡大していく見込みである。また、2023 年春に J R 東日本が盛岡都市圏で I Cカード「S u i c a」の導入を予定している。

そのため、当社としても様々な角度からキャッシュレス乗車システムについて検討を行う。

《主な検討内容》

- ・ 非接触乗車の必要性
- ・ I Cカード、Q Rコード決済等、他の非接触も含めた検討
- ・ 費用対効果
- ・ 基本仕様
- ・ 運用方法

「銀河ダイニングへのへの」の状況について（報告）

1 概況

4月14日（水）沿線自治体や二戸市の団体、企業様をお迎えし内覧会を実施しました。4月16日（金）オープン以降は、ランチを中心に周辺住民、ビジネスマン、報道をご覧になった盛岡方面、三戸方面からのご家族連れや、なにやとでのイベント来場者など、多様なお客さまにご利用いただいています。



2 利用状況

4月16日のオープンから5月31日までの平均客数は52名/日、ランチ売上は計画比106%であり、客数、売上ともに概ね計画通りで推移しています。

地元産の三大ミート（いわて短角和牛、佐助豚、ブランド鶏）を中心としたメニューや、郷土料理「ひつつみ定食」が人気です。

いわて旅応援プロジェクト対象「I G R日帰りパック」(1日乗車券+へのへのランチ)は、115名の方にご利用いただきました。（実施期間 5/15～5/31）

お客さまの声をもとに、5月中旬より「三大ミートグリル」等をメニューに追加しました。今後も「ENSEN つなぐダイニング」のコンセプトのもと、お客さまの声を取り入れながらサービス向上に努めます。

3 今後の予定

地域の食材を利用したメニュー開発や期間限定フェア等企画イベントにより、食を通して地域の魅力発信に寄与します。

岩手県県北広域振興局「県北地域の食産業情報発信強化事業」受託について、「へのへの」「びすとり銀河」の2店舗で展開することにより、事業目的である二戸地域、久慈地域食材の情報発信及び販路拡大の相乗効果を図ります。



4/14 内覧会



人気メニュー「佐助ロースかつ定食」



漆染めユニフォーム

にのへ三大ミートを食べつくせ！

SPECIAL★MENU



ボリューム満点！

熱々鉄板

にのへ

三大ミート グリル定食

税込1,480円

- ・あべどり
- ・いわて短角和牛
- ・佐助豚

(ご飯・味噌汁付)

選べるソース

●トマト●にんにく●源たれ



東北DC記念メニュー



地元野菜と
イタリア厳選素材の
新たな出会い

雑穀パワー サラダ

税込500円

オーガニックエキストラバージンオリーブ
オイルにローズマリーとローリエで香りづ
け。純度99.6%で塩カドのない、まろやか
な味わいが特徴の岩塩で野菜本来の味をお
楽しみください。



副店長 加蘭麻紀子

ナチュラルフードコーディネーター



- 菜彩鶏のマリネ
- 5品目以上の色とりどりの地元野菜
- 10品目の雑穀
- シチリア産エキストラバージン
オリーブオイル
- シチリア岩塩レガルペトラ

Coffee & Sweets

MENU

奥中山高原で育った
ジャージー牛の濃厚ソフト
(バニラ)



※写真はイメージです。

MENU

[デザート]

本日のケーキセット		¥ 600
ソフトクリーム		¥ 280
(バニラ・抹茶・ミックス)		
コーヒーフロート		¥ 420
クリームソーダ		¥ 460
あんみつ		¥ 540
クリームあんみつ		¥ 720
本日のケーキ		¥ 410

[ドリンク]

コーヒー(ホット・アイス)		¥ 350
紅茶(ホット・アイス)		¥ 350
カフェインレスコーヒー		¥ 350
りんごジュース		¥ 350
オレンジジュース		¥ 350
ジンジャーエール		¥ 280
ウーロン茶		¥ 280
ココア(アイス・ホット)		¥ 420
ロイヤルミルクティ(ホット・アイス)		¥ 420
カフェオレ(ホット・アイス)		¥ 420

※ケーキセットドリンク（コーヒー・紅茶・ジュースのいずれかをお選びください。）



Food Menu

11:00~17:00

※税込価格

お得！

日替定食

【平日15食限定】
★セットドリンク付

黒板でメニューをご確認ください。

¥ 880

おすすめ

にのへ三大ミート

★あべどり★菜彩鶏 全国有数の鶏肉産地の銘柄鶏。こだわりの飼料で育った高たんぱく、低カロリーでクセの少ない鶏肉です。

★折爪三元豚・佐助 きめ細やかな肉質とジューシーさが自慢のお肉。

★いわて短角和牛 雄大な高原で放牧されて育ち、脂肪が少なく赤身肉本来の味を楽しめます。

にのへ三大ミートグリル定食

¥ 1,480

あべどりの唐揚げ定食

【単品200円引き】 ¥ 880

佐助生姜焼き定食

【単品200円引き】 ¥ 980

菜彩鶏の親子丼

¥ 780

雑穀パワーサラダ(菜彩鶏)

¥ 500

ふるさとの味

郷土料理

※混雑状況により
お時間がかかる場合がございます。

岩手の伝統食ひつつみ。水でこねた小麦粉を指先でつまんで、引っ張り伸ばして、煮込みます。当店では、かつおだしに根菜、きのこ、菜彩鶏を使用しております。

ひつつみ定食

(小鉢・ご飯付)

¥ 880

ひつつみ

(単品)

¥ 680



へのへの

カレー (ミニサラダ付)

※お急ぎのお客様におすすめです。

ボリュームたっぷりの菜彩鶏チキンカレーです。とんかつとのコラボ、トッピングなどをお楽しみください。

カレー

¥ 680

ミニカレー

¥ 360

【トッピング】 ゆで卵・生卵100円 唐揚げ2個 150円



そば・うどん

※お急ぎのお客様におすすめです。

かけそば・うどん【温】

¥ 460

ざるそば・うどん

¥ 510

わかめ100円 唐揚げ2個150円 おろし納豆100円

【トッピング】 とろろ100円 かきあげ130円

セットドリンク ※お食事のお客様

コーヒー(ホット/アイス)・紅茶(ホット/アイス)・りんごジュース・オレンジジュース

¥ 200

★当店のお米は、二戸産「金田一う米」を使用しております。低アミロースで、甘みのあるお米です。

とんかつ類は、水曜日および第一・第三木曜日お休みです。

こだわり

とんかつ

【単品200円引き】

きめ細やかな肉質でジューシーな「折爪三元豚・佐助」を当店こだわりの調理法で揚げております。油がしつこくなたいため、女性や高齢の方にも好評です。

佐助豚ロースかつ定食	¥ 1,280
ロースカツ定食 (国産)	¥ 980
ヒレカツ定食 (国産)	¥ 1,680
カツカレー	¥ 980
佐助カツカレー	¥ 1,100
カツカレーの頭 (ごはんなし)	¥ 880
エビフライ定食	¥ 1,080
佐助かつ&エビフライ定食	¥ 1,480
ひれ&エビフライ定食	¥ 1,480



テイクアウト可能です。(当日12時までにご予約ください)
(唐揚げ5個300円／佐助ロースかつ700円／国産ロース500円／ひれかつ1枚250円)



Alcohol Menu

11:00~17:00

ビール

- サッポロ黒ラベル 生中 ¥560/生小 ¥410
- サッポロ黒ラベル 瓶ビール ¥580
- ノンアルコールビール ¥410

日本酒

- 南部美人 上撰一合 ¥510
- 上撰二合 ¥920



銀河ダイニング

へのへの

〒028-6103

岩手県二戸市石切所字森合68 カシオペアメッセなにやーと2F

TEL/FAX 0195-43-3931



@henoheno_ninohe



@henoheno.ninohe

Lw



「いわて旅応援プロジェクト・いわて応援クーポン」を活用した
県営南青山アパート入居者限定ツアーの実施について（報告）

【要旨】

当社は、2021年2月に完成した「県営南青山アパート」の入居者の方々を対象に、「いわて旅応援プロジェクト・いわて応援クーポン」を活用したツアーを下記のとおり実施しましたのでご報告します。

これまで、もりおか復興支援センターとの連携のもと、支援に取り組んでいますが、今後においても、入居者の方々の生活のお手伝いをしながら、コミュニティづくりに寄与できるよう、ツアー等の実施も含め支援を継続していくこととしています。

記

1 ツアー概要

（1）ツアー名：

「桜を見る会～金勢大明神とともに～」IGRで行く奥中山高原温泉と二戸散策

（2）対象者：県営南青山アパートの入居者（限定）

（3）支援制度を活用：いわて旅応援プロジェクト対象商品として実施

（4）沿線地域の観光素材を発信：一戸町/奥中山高原

二戸市/地域イベント「桜を見る会」

※「銀河ダイニングへのへの」で昼食

2 実施日 2021年4月24日（土）

3 参加人数 14名

4 当日の状況等

天候にも恵まれ、参加された方々はIGR線を利用した沿線地域の小旅行を満喫し、とても楽しんでおられました。今後も沿線資源の活用を中心とした同様のツアーを企画していきます。

※参考



（コミュニティ番屋開所式）



（小さな祈りの灯火：灯ろう作成会）



（小さな祈りの灯火）

これまでも、社長をはじめ社員が南青山アパートで行われるイベントに参加するなど、コミュニティ番屋や地域と連携し支援活動を行っています。